



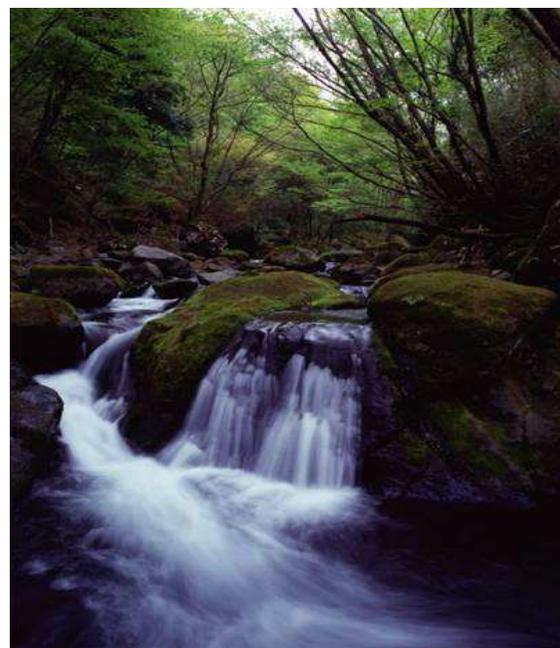
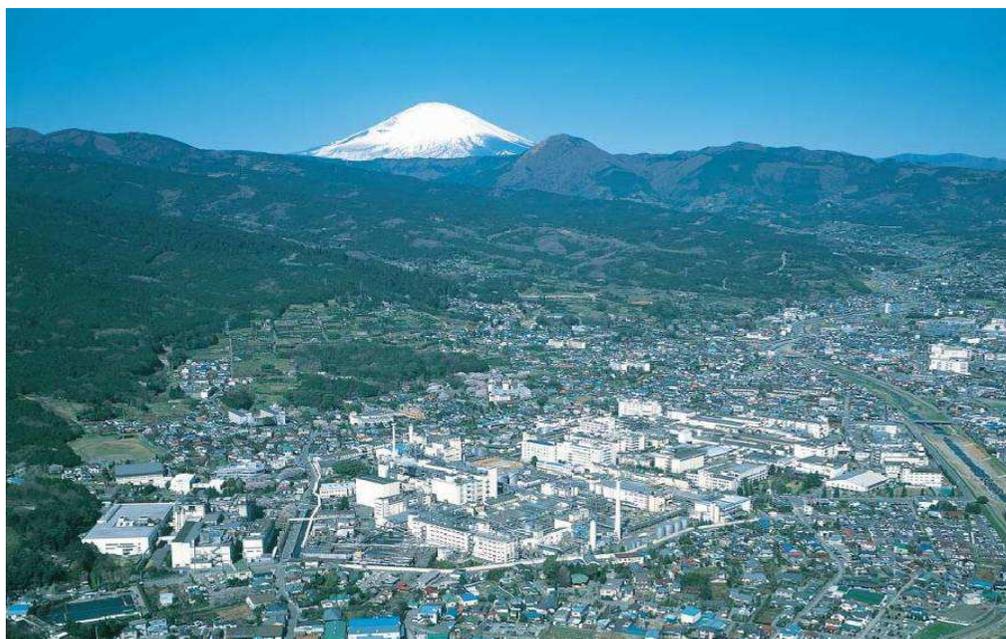
富士フイルムグループのCSR

SDGsとSCPの視点から

2018年3月20日
富士フイルムホールディングス株式会社
経営企画部CSRグループ

富士フイルムグループの事業分野





神奈川工場足柄サイト



神奈川工場足柄サイトの水源と涵養林

◇ 創業の原点ともいえる写真フィルムの製造には、**大量の清浄な水や空気が不可欠。**

◇ 写真フィルムは撮影前に試すことができない。
一方、一生に一度のシーンは撮り直しがきかない。
⇒ **「信頼を買っていただく商品」**



◇ 真摯に積極的に環境保全に取り組むと同時に、**お客様や地域の方々との双方向のコミュニケーション**も積極的に実施し、信頼を築いてきた。

創業以来

- 環境配慮・環境保全
 - 社会からの信頼
 - ステークホルダーとのコミュニケーション
- は、**「企業活動の根幹を成す」**との意識

富士フイルムグループの考えるCSRとは、
誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を実践することにより、
社会の持続可能な発展に貢献することです。



わたしたちは、
経済的・法的責任を果たすことはもとより、

1. グローバル及び地域の様々な環境・社会課題を認識し、**事業活動を通してその解決に向けた価値を提供**していきます。
2. 私たちの**事業プロセスが環境・社会に与える影響**を常に評価し、その継続的な改善を進めるとともに、**社会にポジティブな影響を広め**ていきます。
3. **ステークホルダーとのコミュニケーション**を通して、**社会の要請や期待に適切に**応えているか、私たちの**活動を常に見直**していきます。
4. 積極的に情報開示を進め、**企業の透明性**を高めます。

ステップ 1 基本方針の明確化

- これまでのCSR活動の振り返りによる基本方針の明確化。
- ※CSRに関わる社会トレンド、計画のレビュー結果

ステップ 2 事業戦略を踏まえ 社会課題の抽出

- 各種指標などから社会課題のリストアップ。
- 当社各事業で可能性のある技術、製品、サービスの洗い出し。

ステップ 3 重要性評価

- マテリアリティ決定の2つのアプローチ
- ①事業プロセスにおける環境・社会への配慮
- ②事業を通じた社会課題の解決

ステップ 4 計画立案とレビュー

- 重点課題の目標設定。
- 社内でのレビュー、及び承認。

Sustainable Value Plan (SVP) 2030の概要

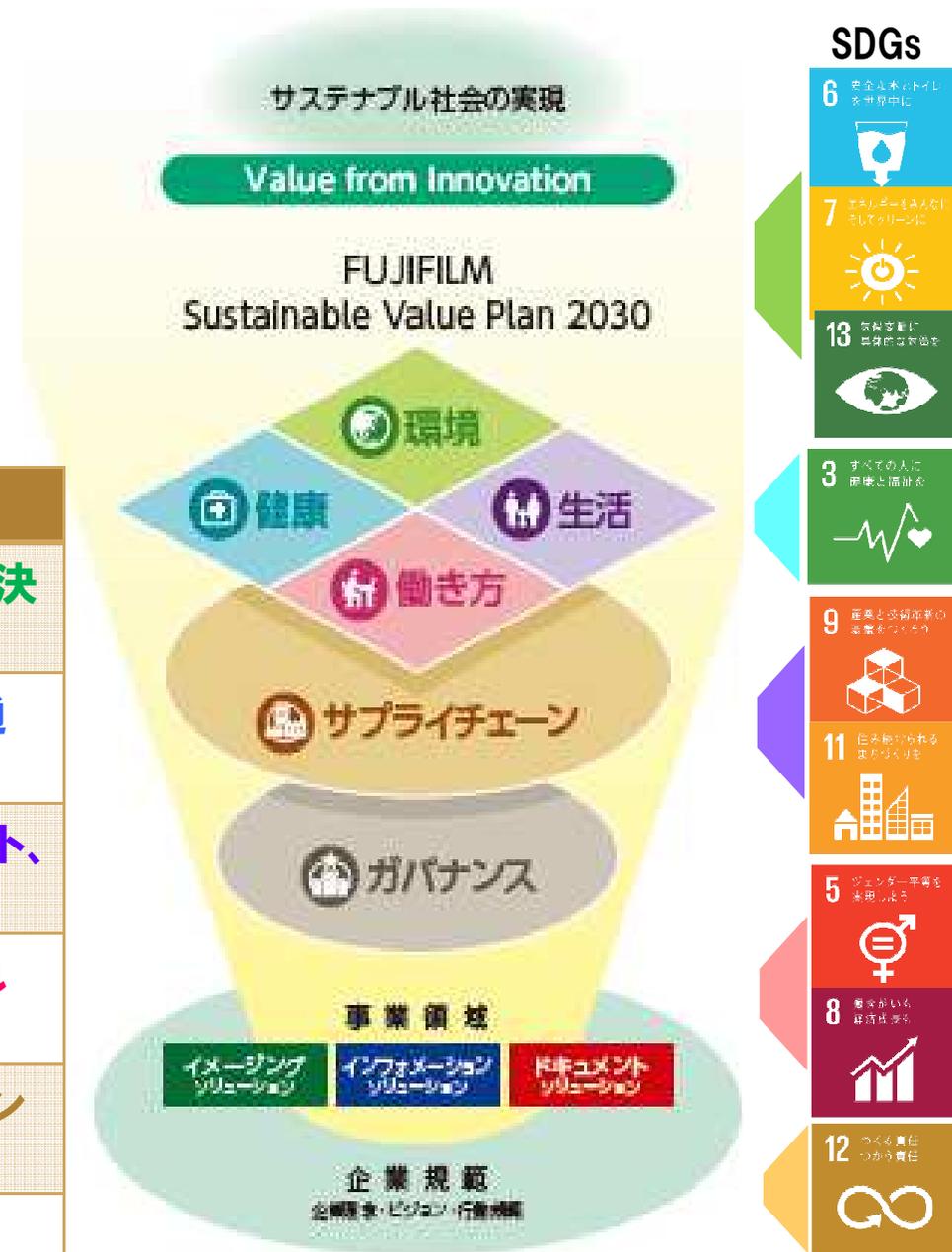
富士フィルムの目指す姿

革新的技術・製品・サービスの提供

⇒事業活動を通じた社会課題の解決

⇒サステナブル社会への実現にさらに貢献する企業

分野	スローガン
環境	自らの環境負荷を削減すると共に環境課題の解決に貢献する
健康	ヘルスケアにおける予防・診断・治療プロセスを通じて健康的な社会を作る
生活	生活を取り巻く様々な社会インフラをハード、ソフト、マインドの面から支える
働き方	自社の働き方変革を、誰もが「働きがい」を得られる社会への変革に発展させる
サプライチェーン	環境・倫理・人権等のCSR基盤をサプライチェーン全体にわたり強化する
ガバナンス	オープン、フェア、クリアな企業風土を浸透させる



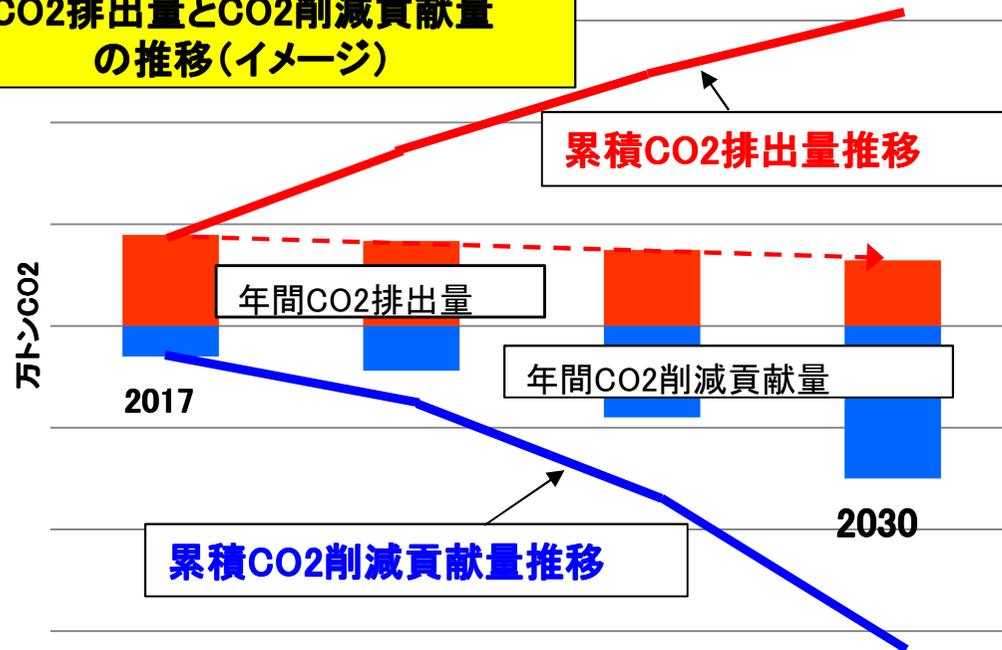
自らの環境負荷を削減すると共に環境課題の解決に貢献する



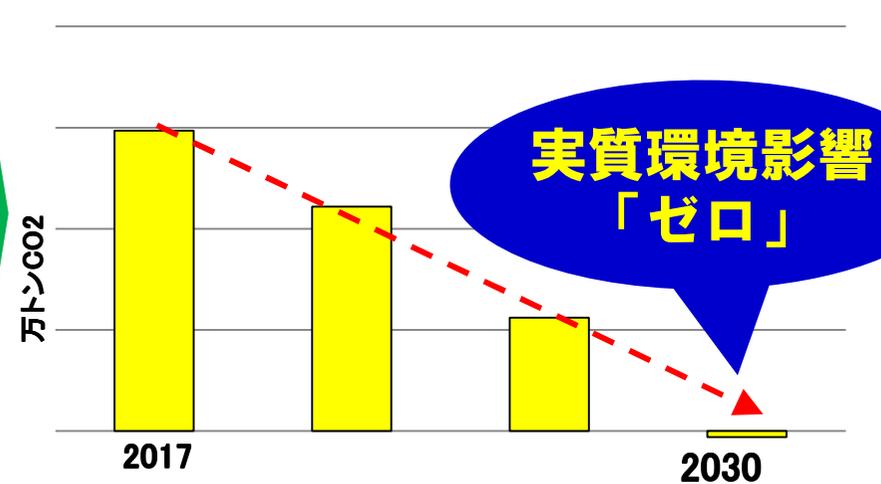
重点課題1 気候変動への対応(CO2排出量の削減)

目標(1) 2030年度に当社グループによるCO2排出量を30%削減 (2013年度比)

CO2排出量とCO2削減貢献量の推移(イメージ)



実質的なCO2排出量 推移(イメージ)
(累積CO2排出量 - 累積CO2削減貢献量)



目標(2) 2030年度までに社会でのCO2排出削減50百万トンに貢献 ~当社グループのCO2排出量を当社グループの製品・サービス普及によりオフセット~

重点分野「環境」:取組事例（重点課題1）

（1）気候変動への対応(CO2削減):欧米の生産工場での取り組み

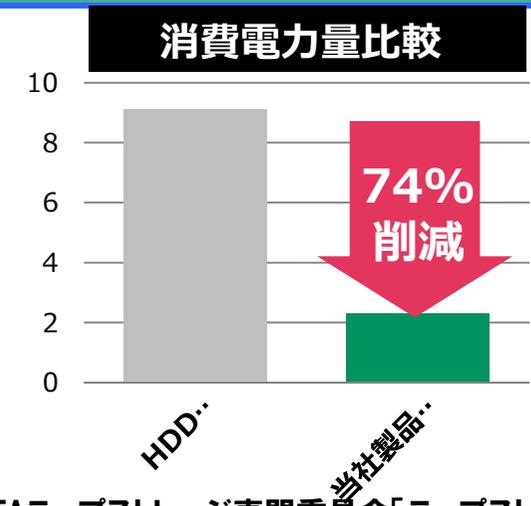
●FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.（オランダ）のCO2削減施策

2011年:5台の風力タービン設置。
⇒総電力の20%を再生エネルギー化。
2016年:風力発電由来のエネルギーを購入開始。⇒再生可能エネルギー100%を達成。
※生産操業のためのエネルギーは100ギガワット時。



（2）大容量磁気テープによるCO2削減貢献

- 使用頻度の低いアーカイブデータをHDD保存から大容量磁気テープ保存へ
※新世代磁性体バリウムフェライトの磁気テープ
⇒HDDと比較し、約74%の消費電力削減を実現
(CO2排出量の大幅削減に貢献)



出典: HDDデータはJEITAテープストレージ専門委員会「テープストレージの活用による省エネ貢献2016」、当社製品データは当社実測値

重点分野「環境」:目標 (重点課題2)

重点課題2 資源循環の促進

➤SDGsとの関連:目標6「安全な水」



2030年度目標

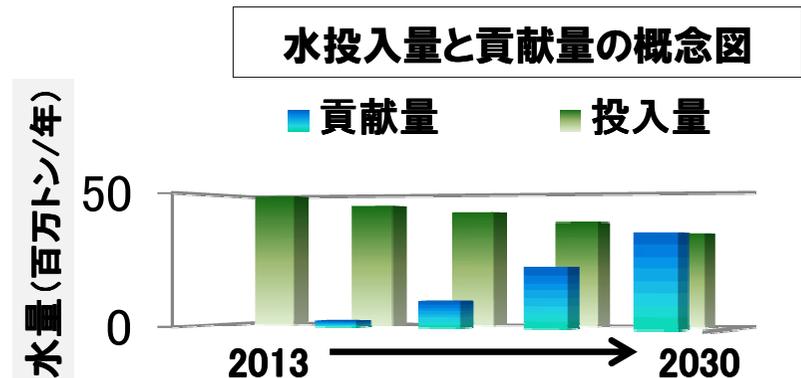
- 水 ①当社グループによる水投入量を30%削減(2013年度比)
- ②製品・サービスにより、社会での水処理35百万トン/年に貢献

※①と②は同程度の規模

施策:フィルトレーション材料の水処理への活用

- 廃棄物発生量:30%削減(2013年度比)
- 資源投入量(原単位):30%改善(2013年度比)

実質環境影響
「ゼロ」



その他の重点課題

重点課題3 エネルギー問題への対応

※SDGsとの関連:目標7、13

目標:高機能材料により再生可能エネルギーの創出・普及に貢献

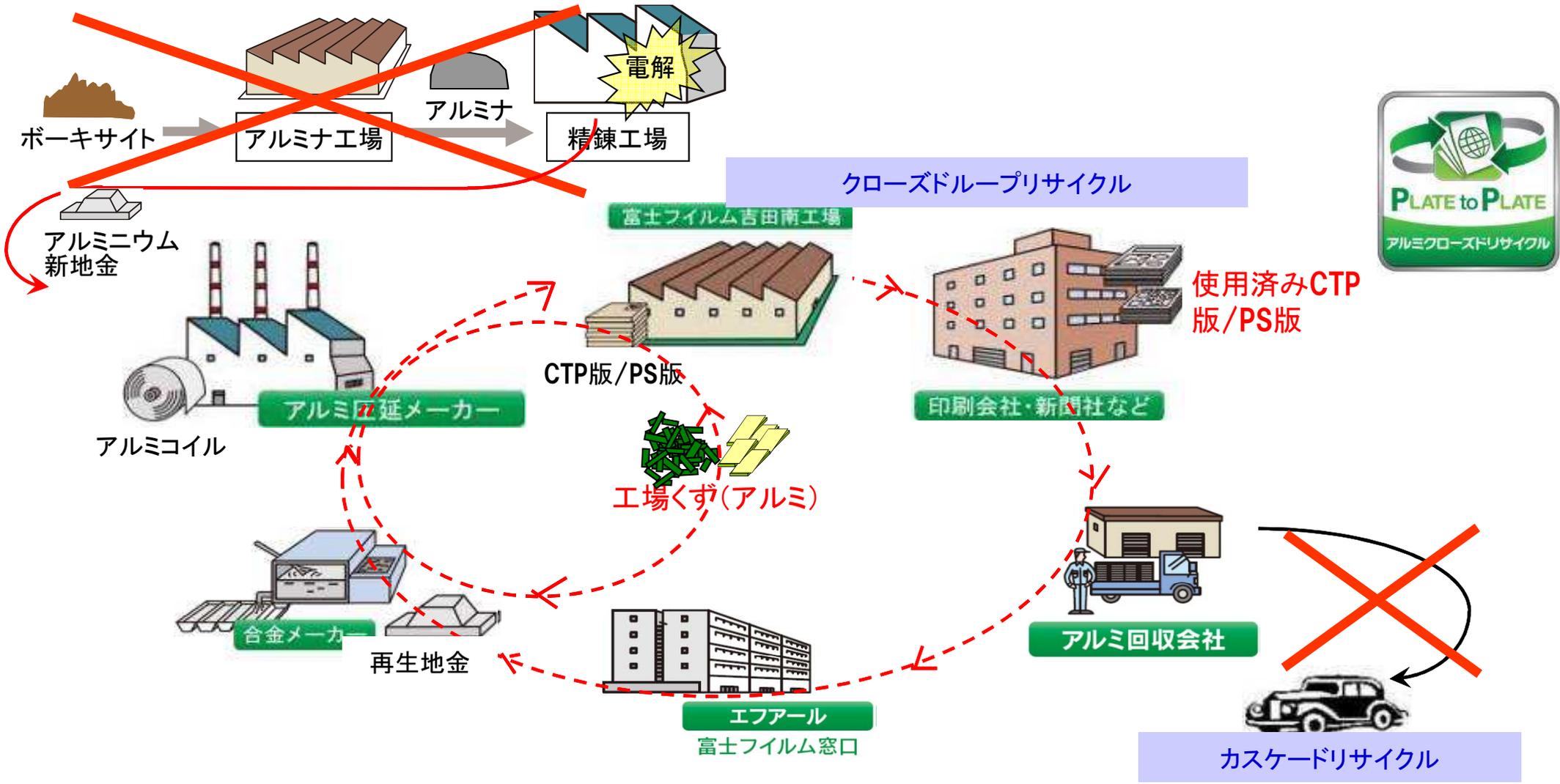
重点課題4 製品・化学物質の安全確保

目標:化学物質による人・環境への悪影響を最小化



取組事例:「環境」(事業プロセスにおける社会への負荷低減)

- PS版製造時において、ボーキサイトからアルミニウムを精錬する過程がなくなり、大きなCO2削減となる(約60%削減)。
- 品質維持のための技術開発により、当社で**クローズドループ・リサイクル**を確立。



ヘルスケアにおける「予防」「診断」「治療」のプロセスを通じて健康的な社会を作る

➤SDGsとの関連:目標3「健康と福祉」



重点課題1 アンメットメディカルニーズへの対応

- 目標: (1) がん、感染症の治療薬開発
(2) アルツハイマー型認知症の予防・診断・治療法の開発
(3) 再生医療を通じた眼疾患、パーキンソン病、心疾患、がん治療への貢献
(4) 薬で治せない身体的ダメージへの再生医療による対応

重点課題2 医療サービスのアクセス向上

- 目標: (1) 在宅医療の促進や医師の負担軽減 (2) 創薬の開発・製造期間短縮
(3) 新興国への診断技術指導と健診習慣の普及 (4) 災害・救急医療への対応

重点課題3 疾病の早期発見への貢献

- 目標: 検査システムの普及拡大による身体的負担の軽減

重点課題4 健康増進、美への貢献

- 目標: (1) 健康寿命を延ばす取り組み (2) 輝く女性支援

重点課題5 健康経営の推進

- 目標: 従業員の活力を維持する健康経営の推進

トレーニングセンター

医療従事者の教育・研修サポート

・ドバイにトレーニングセンター設立 ⇒

医療技術の向上による新興国等の医療環境改善



携帯型診断装置

災害救済活動現場での医療支援

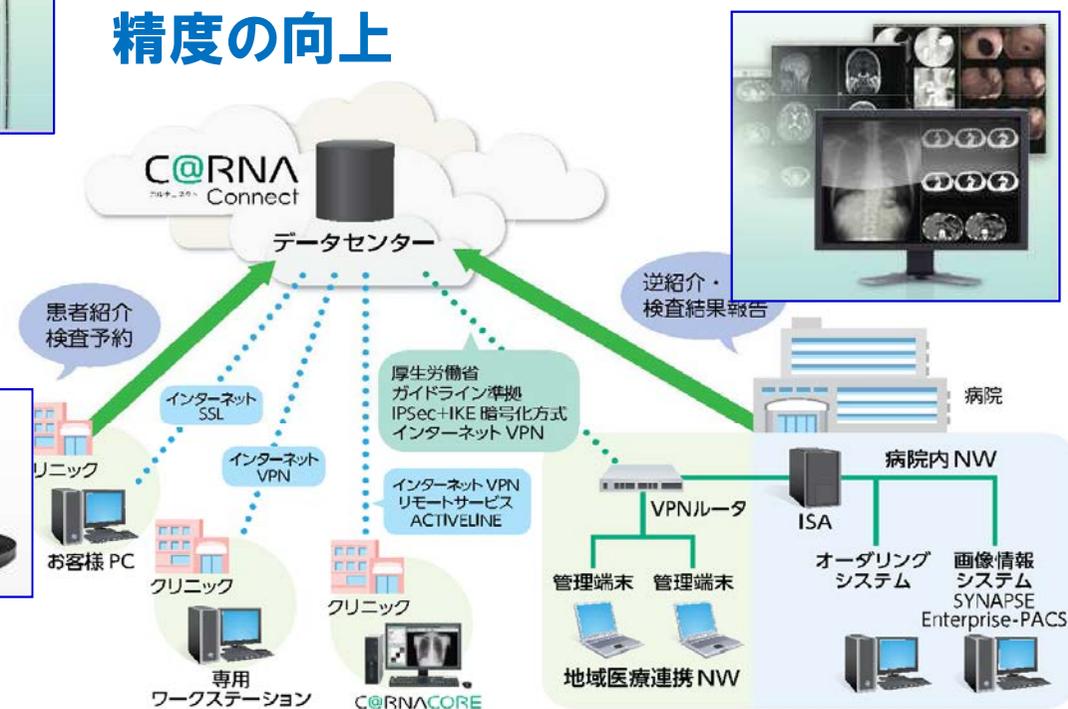
・高い機動性と診断精度で、災害などの緊急時に救命につながる画像診断



医療連携を図る仕組みづくり

地域医療連携、正確・迅速な診断支援

・患者さんに身近な地域の診療所と中核病院の連携で、理想的な病院と診療所の機能分担(医療連携)を図る仕組みづくり
⇒ 医師負担の軽減による診断企画、診断精度の向上



診断支援 + 医療の効率化 へ貢献

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルムホールディングス株式会社